

千年の木は、千年もつか……？

今村祐嗣（京都大学名誉教授）

木材の利用を拡大していく上での一つの重要なキーワードは、「耐久性」ではないでしょうか。他の材料との比較選択の場面で、“木は腐るから、シロアリに喰われるから……”とは、よく聞かれる言葉です。しかし一方で、世界最古の木造建築物である法隆寺を支えてきたのも木材であり、こういったことから、ともすれば、何もしなくとも千年の木は千年の寿命があるように曲解されたり、あるいは、森林資源の持続的利用を考えることなく海外の高耐久性樹種を安易に選択したり、また、科学的根拠を疑うような手法が喧伝されるケースが多いのもこの分野です。

今回は、木材の利用拡大を眼目におき、劣化を防ぎ耐久性を向上させることの重要性を再認識し、その上で木材保存の現状と課題、木材と木造住宅の耐久性に関する常識・非常識についてお話して頂きます。

講師の今村祐嗣先生は公益社団法人日本木材保存協会の会長であるとともに、京都市にあって文化財建築物の設計診断修復等を行っている一般財団法人建築研究協会の理事も務められています。また、先般、「木材の生物材料特性に基づく耐久性の向上に関する研究」で、第51回日本農学賞を受賞されました。

今村先生を囲んで、木の“耐久性”を考えてみたいと思います。



□日 時：平成26年4月24日（木）17時30分～19時（受付開始は17時00分～）

□会 場：東京大学農学部キャンパス フードサイエンス棟2階 中島董一郎記念ホール

□主 催：木材利用システム研究会

□後 援：公益社団法人 日本木材保存協会

□定 員：80名（定員になり次第、締め切らせて戴きます）

□参加費：主催、後援団体会員は無料、非会員は3,000円
（情報交換会は実費（4,000円）を戴きます）

□申込期限：平成26年4月17日（木曜日）

□申込方法：下記ホームページからお申し込みください。

下記様式にて、メールまたはFAXで事務局までお申込戴くことも可能です。

□申込先：木材利用システム研究会事務局（お問い合わせはメールにてお願いいたします。）

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1, 7号館B棟439

電話: 03-5841-7506 ファックス: 03-5841-0915 メール: info@woodforum.jp

ホームページ：<http://www.woodforum.jp>

※ 情報交換会のお申し込みについては、人数把握&会場準備の都合上、申込期限日までにお知らせください。

また、当日のキャンセルはご遠慮いただきますようご協力の程よろしくお願いいたします。

参加申込書

ご氏名				会員種別	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 賛助 or 団体 <input type="checkbox"/> 東京大学 <input type="checkbox"/> 非会員		
ご所属							
連絡先	住所						
	電話番号		ファックス				
e-mail							
情報交換会	<input type="checkbox"/> 参加する		<input type="checkbox"/> 参加しない				
通信欄							

